

電子書籍版

帝国在郷軍人会機関誌

# 戦友

明治期 全2巻  
大正期 全16巻

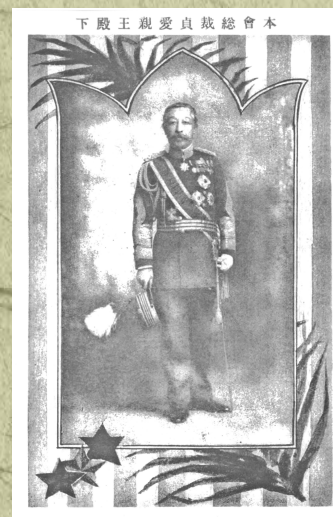


2024年9月配信開始！

**人間最高の道徳**  
伯爵 大隈重信

大隈伯爵は、六月六日歩兵第三聯隊を視察し、田中旅團長若見聯隊長より詳細なる説明を聞き、後、將校集會所に於て一語の演説を爲し、更らに下士卒に對し一語の演説を試みられたり、左に即ち下士卒に對する演説の大要なり。

凡人の道徳中最も尊ぶべきものは、陛下の御爲國家の爲めに一身を犠牲とすることである。人間の道として、是程尊ぶべき崇高なるものはない。此犠牲の精神が盛なる國は盛んになる、衰へたる國は亦衰へるのである。此犠牲の精神は言を換へて言へば、則ち忠君愛國である。忠君愛國の精神が行為に現はれば身を犠牲として、生死の巷に立つと言ふことになる。而して此の精神は平常に於いて訓練せねばならぬ。戰は常にあらず然るものは、忽ちの間にあるのが例である。故に此意に應ずるには常に其用意をせねばならぬ。即ち國家は巨萬の費を投じ平時に於いて大軍を養成し、萬一の場合に備ふるものである。治に在つて亂を忘れず、安きにあつて危きを忘れざる犠牲の精神を集めたものは軍隊である。故に軍隊は國民的忠君愛國の結晶である。



第1回配本 明治期 全2巻 ISBN 978-4-86670-121-9 2024年9月末：配信  
同時アクセス1 税込79,860円（本体66,000円） ※本体にプラットフォーム料金10%が加算されます

第1巻	第1号（創刊号）～第12号	明治43年11月～明治44年10月	
第2巻	第13号～第22号	明治44年11月～明治45年7月	総2,245頁

帝国在郷軍人会機関誌『戦友』は1910年11月より1940年まで刊行された。同会は、1910年に設立され、陸軍のみだったが、1914年に海軍も加わる。1931年には勅令により公的団体となるが、会員相互の親睦のほかに青年団指導、救護事業、地域社会の秩序維持、軍国主義的宣伝に側面的に協力した。総力戦に備えた社会の軍事的再編をも射程に入れた陸軍による組織運営は、地域秩序の中で生きる民衆でもある在郷軍人たちを前にしてどこまで貫徹されたのだろうか。

弊社では明治・大正期まで第1号（創刊号）～第198号を復刻する。「戦争の時代」であった戦前期日本を分析するために欠かせない、第一級資料である。

クレス出版

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 Tel 03-3808-1821 Fax 03-3808-1822  
<http://www.kress-jp.com/>

